

エーススクールの春期講習会

最近、生徒諸君を見ていて思うのは、自立学習を勘違いしているというか自分の都合のいいようにとっている生徒が少なからずいるということ。

自立学習は自分で作戦を立てて実行するが、それは自分が好きなものだけを勉強していいとかイヤなことはしなくてもいいとかそういうことではない。

苦手なものにも真摯に向き合って、作戦を考え、不断の努力で解決していく。それが自立学習だ。

「テキストに勉強してラクするための講座」ではないことをもう一度しっかり意識してもらいたい。

授業日:3/26(金)、27(土)、3/30(火)~4/3(土)

講習会模試:4/4(日)もしくは自宅受験

※ご希望があれば4日より前の授業日に実施することもできます。(静かさは保証できませんが。)

講習会模試 【通常版】 新小1~新中2...塾3,000円/自宅2,500円
 新中3...4,000円(青森県入試形式/原則、塾受験)
 【アタックテスト(激ムズ)】新小2~新小6...塾4,500円/自宅4,000円
 ※全統小よりも難しい、国私立中を受験する生徒のための模試です。

春期講習会 幼保小中高一貫 料金プラン (税込)

コマ数	幼保小中	高	コマ数	幼保小中	高
35	23,500	33,000	17	14,500	19,100
34	23,000	32,300	16	14,000	18,300
33	22,500	31,600	15	13,500	17,500
32	22,000	30,900	14	13,000	17,000
31	21,500	30,200	13	12,500	16,500
30	21,000	29,500	12	12,000	16,000
29	20,500	28,700	11	11,500	15,500
28	20,000	27,900	10	11,000	15,000
27	19,500	27,100	9	10,500	14,500
26	19,000	26,300	8	10,000	14,000
25	18,500	25,500	7	9,500	13,500
24	18,000	24,700	6	9,000	13,000
23	17,500	23,900	5	8,500	12,000
22	17,000	23,100	4	8,000	11,000
21	16,500	22,300	3	6,000	8,500
20	16,000	21,500	2	4,500	6,500
19	15,500	20,700	1	3,000	5,500
18	15,000	19,900			

春期講習会の料金は、3月分と4月分とは別料金となります。ご了承のほどお願い申し上げます。

授業日	料金	納入期限
3/2~3/21	3月月謝	3月末
3/26、27、3/30~4/3	春期講習会	4月末
4/6~4/25	4月月謝	

※講習会を受講しない方は、講習会期間中の通常授業はお休みとなります。

講習会の始まる前に、必ず読んでください。

勉強は自分でやらなきゃ意味がない！

【知識や知恵は自ら進んで手に入れるという意識をもつことが大切である】

生活編

○健康に過ごす。勉強の体力は残しておいてもらえます？

⇒健康に過ごすことができなければ、集中力が落ちるため、どれだけ勉強量を増やしても頭に残りません。長期の休みだからと言って、夜更かしは厳禁です。また、夜更かしではなくても、塾に来る前や休憩時間に遊び過ぎて、集中力を落としている人がいます。休憩時間に外に出るときは散歩程度にして、汗をかくほど遊ばないこと。夏は熱中症、冬は汗冷えが怖いので。体調管理も勉強の一部と意識して、勉強に集中できるように体調を整えましょう。

○受験生は受験態勢に入る

⇒受験を有利に進めるためには、人よりも早く始めることが大切です。勉強にフライングはありません。人より早く始めましょう。ワンランク上の志望校を狙う人は、早めに習い事はやめるかお休みすること。遅くとも7月からは受験勉強に専念できる態勢を作らなければなりません。

○日々記憶するクセをつける。

⇒定期テストでの順位、学校の予定など、聞かれたらすぐに答えられますか？また、学校や塾でもらった保護者への手紙を忘れないで当日に渡していますか？普段から様々な情報を忘れずに記憶・行動するクセをつけることで、記憶力を鍛えることができます。座って問題を解くだけが勉強ではありません。

勉強編

◎勉強する内容は自分で考える。自分の勉強を他人に委ねるな！

⇒勉強する内容は、自分の現在のテストの順位や偏差値、目標、得意不得意など様々な要素をもとに、どのような勉強が必要かを戦略的に考えて決めましょう。そして、決めたら必ず実行する。正しく実行すれば成果を上げることができますが、しなければ貴重な時間を失います。すべてが自分次第。自分の人生を左右する勉強を決して他人に委ねてはいけません。ただし、勉強する内容や成績については悩みがあるときは、塾長や先生にいつでも相談してください。

◎勉強量の確保は最優先。自宅と塾での勉強内容にメリハリを。

苦手なものにも、しっかり時間をかける。

⇒成績を伸ばすためには、まず勉強量を確保することが大切です。量が足りていない人は伸びません。塾だけではなく、自宅での勉強時間もしっかり確保すること。ただなんとなく勉強をするのではなく、自宅では得意な教科・分野の宿題、映像授業そして基本問題など負担の少ないもの、塾ではなかなか自分から頑張る気になれないような、不得意な教科の宿題や難問を解くようにするなど、自宅と塾での勉強内容にメリハリをつけるのもいいと思います。特に、不得意な教科は「やりたくない」という負の感情に負けて、勉強する時間が減るので、まずは無理やりでもいいので「量」を確保するのです。勉強法がわからないとは言わず、最初は基本問題でいいのでたくさん解き、少しずつ難しくします。不得意な教科にも絶対に楽しいところはあるはず。「何か楽しいところあるかな～」と探してみてください。すでに不得意な教科に時間をかけているのに、なかなか伸びない人は塾長や先生に相談してください。

◎できる人はどこまでも伸びていけ！

⇒中3生、高3生は復習が大切です。しかし、それ以外の学年の生徒は、復習に加え、映像授業を活用し、休み明けの予習や次学年の予習にもチャレンジして欲しいと思います。特に、全統小では予習が大切です。理解せずに進んでも意味がないので、きちんとテキストの問題を解いて、確認しながら進むこと。

◎「なぜ？」「どうしたらいい？」と疑問をもち納得いくまで考える。

解けた問題の解説も読むことでより成長できる。

⇒「これはどういう意味だ？」「なぜ解けなかったのか。どうしたら解くことができるのか」と疑問を持ちながら考えることで思考力が身につきます。調べない、解説を読まない、答えを丸写しするだけではいけません。「自分で考えると時間がかかる」とか「答えを読むと負けた気がする」と言って、解説を読まずに質問に来る人がいますが、考えるチャンスを放棄することになり、もったいないと思います。ただし、算数や数学など考える問題で、解説をなるべく見たくない人はヒントをもらいに来てください。また、できた問題でも解説には自分と違う考え方が載っている可能性があります。自己流でも自分の力で解くのはとても大切ですが、もし自分の考え方と違う解法が載っていたら別解として覚えてしまいましょう。解法をたくさん持つことで、答えられる問題が確実に増えます。

◎あいまいなまま勉強を進めない。時間短縮のために質問しない。

⇒「自分で調べ考える」＝「質問をしてはいけない」ということではありません。わからない問題はわかったふりをせず徹底的に調べ考えること。それでも納得できないときは質問してください。ただ、たまに質問の内容がわからない人がいるので、どう質問したら伝わるのかを整理してから来てください。また、自分で調べるのは面倒で時間がかかるからと、「時短」のために質問する人がいます。そんな質問の仕方だとすぐに忘れてしまい、何度も同じ質問をすることに…結果的に時間を損じます。

◎普段の授業で質問がない人は、もっと攻めてもいい。

⇒自分で調べ考えるのが通いホーダイ。質問がなければ自分で解決できているので、それはそれでいいと思います。しかし一方では、自分で解決できるくらいの問題しか解いていないという風にも考えることができます。そういう人は、「自分で解決できそうな問題は家で勉強し、塾ではもっと難しい問題を解く。」という作戦を取れば、もっともっと成長できるので、もっともっと攻めましょう。

◎「まとめノート」をつくり、頭に残す勉強をする。記憶を熟成しよう。

⇒ひとつの問題を覚えるのに時間がかかる人は、頭に残す工夫をしていますか？何度も間違える問題や覚えられない公式などは、いつでも確認できるように1冊のノートにまとめておくといいでしょう。暗記カードもOK。他には、「勉強したことをたまに思い出す」というのもおすすめです。難しい問題だと、数日後には完璧に忘れてしまいます。そんなときには、勉強して1時間後、2時間後、翌日の朝、翌日の夕方などちよくちよく問題と解法を思い出すようにすると、記憶が少しずつ熟成されて定着しやすくなります。

◎新しい勉強法を開発してみる。

⇒長期の休みには時間があるので、自分のいまの勉強方法が正しいのかを見直してみると良いでしょう。今の勉強法は頭に残せるのか、苦手なところを楽しく勉強するにはどうしたらいいのかなど。勉強法は学年や教科・分野などを考慮に入れて、定期的に見直しましょう。特に、中学校で通用していた勉強法が高校では通用しないというのは良くあることです。インターネットで調べたり、塾長や先生、友だちと相談したりしながら、その時々自分に合ったオリジナルの勉強法を開発してみましょう。

精神編

●苦手に挑む。逃げるな！ただし5回挑んでダメであれば別の策を！

⇒自分を上のレベルに押し上げるためには、今できない問題をできるようにしなければなりません。難しい問題や苦手な分野の問題にも果敢に挑みましょう。しかし、こういう問題は1回ではできないので、「できるまで頑張る！」という意識を持つこと。逃げてばかりいる人は、いくら時間をかけても上のレベルに到達することはできません。最低5回は挑むこと。それでダメなら一旦その問題から離れて熟成させましょう。知らないうちにできるようになっていることがあります。

●やる気はいらない。塾を最大限に活用する。

⇒よく「やる気が出ずに、勉強が進みません」という相談を受けますが、「やる気などいらない。時刻になったら勉強するような仕組みを作れ」と、どこかの偉い先生が言っていました。自宅では、「比較的短い時間での時間割をつくり、タイマーを鳴らして行動する。」など勉強を習慣化する工夫をしましょう。

また、講習会では、午前中からオンライン授業を開催します。授業を取ればその分お金はかかりますが、勉強する時間を確保することができます。お金がかかるからと、受講せずにダラダラしてしまうと、時間をムダに失ってしまいます。お金は頑張れば働けば得られますが、時間はいくら頑張っても戻ってきません。ダラダラしてしまう人は最大限、塾を活用して欲しいと思います。

●集中力を鍛え、ゾーンの境地へ。他人の邪魔をしない。

⇒「ゾーン」とは、集中力が極限まで高まって、他の思考や感情、周囲の風景や音などが意識から消えて、感覚が研ぎすまされ、活動に完璧に没頭している特殊な意識状態のこと。皆さんは勉強中に、このような状態になったことはありますか？勉強中にゾーンに入ることができれば最高ですね。短時間でもゾーンに入るためには、脳をフル回転させて、行動しながら次にする・考えることを意識するのです。そのうち考えていたことも忘れるくらい集中できます。また、集中している友だちに声をかけるのはやめましょう。自分のタイミングで話しかけることで、友だちの邪魔をしてしまいます。その会話はいま必要ですか？

●テストで点数を取るために勉強を頑張るのではなく、自分をバージョンアップするために勉強を利用しているという意識をもつ。

ちゃんと頑張れたら点数はあとから自然についてくる。

⇒「テストの点数を取れるように勉強する」悪くはありませんが、テストがすべてではありません。「自分の勉強法をバージョンアップするために勉強を頑張っている。1日にひとつでいいので自分の勉強法を修正しよう。」という考え方はどうですか？ひとつでいいですが、毎日すること。一日一善ならぬ、一日一改善。「昨日より1分長く勉強した」「昨日解けなかった問題がうまく解けた」など、なんでもOK。いいことができたときには自分をほめてあげましょう。「次は何を変えたら良くなるか」と楽しくなってきます。ちなみに、塾長はそういう意識で塾を運営していたら、変えたいものや新しく導入したいものがたくさん出てきて、今は改善の渋滞中…これから1日ひとつずつ丁寧に頑張ろうと思っているところです。

●ルールを守る意識をもつ。

⇒「マスクをする」「ゴミは分別して捨てる」「授業中は静かにする」などの実生活上のルールは守れていますか？守れていない人は勉強ができるようにならないでしょう。なぜならば、勉強も「解法」というルールの上に成り立っているからです。「勉強と実生活は違う」と反論する人もいそうですが、果たしてそうでしょうか。普段からルールなんてどうでもいいと考えている人は、勉強でのルールも守らず、自分勝手な解法で問題を解き、できなかつたら問題が悪いとケチをつけます。これではいくら勉強してもできるようになりません。勉強と実生活はつながっています。ルールを守ることをしっかり意識して欲しいものです。

授業編

◇始まったら始めましょう

⇒なに当たり前のことを書いているんだ？と思った人もいると思いますが、開始時刻の数分後によく勉強を始める人が結構多いです。授業が始まる5分前には席に座って、勉強内容を決め、心を落ち着かせて開始を待ちましょう。というか開始時刻前に始めても大丈夫ですよ。

◇トイレはできるだけ休み時間に済ませる

⇒休憩時間はまるまる遊んで、授業が始まってからトイレに行く人がいます。休み時間に行けないのか？と思って見えています。授業中にトイレに行ってもいいですが、授業が始まって最低50分はもつようにしないと、授業やテストの間も、もたないのでは？少しは我慢も必要です。

◇勉強道具をきちんとそろえる。忘れ物は勉強以前の話。

⇒いい参考書があると、より効率よく勉強を進めることができるので、探してみてもいいかな？

⇒コンパスや定規なども塾用のものを用意してください。

◇授業中は飲み物OK。休憩中は食べ物もOKだが、お上品に。

⇒授業中は飲み物を飲んでもOKです。ただ、人工甘味料や乳化剤などの添加物が入っているものを飲んでお腹が痛くなる生徒がいるので、なるべく添加物がないものを選びましょう。休み時間は食べ物もOKです。最近、お菓子を食するときの意識が下がってきているように思います。お菓子を食するときには、机の上にティッシュをしいて、座ってお上品に食べることを。

◇温度管理はまずは自分で

⇒室温は22℃～24℃になるように設定していますが、全員が快適に感じるように設定することは難しいです。暑いときには上着を脱げるように、寒いときにはひざかけや上着を持ってきてください。最低限の温度管理は自分で対策できるようにしておくこと、入試やテストでもベストの状態を臨めます。

◇男子へ告ぐ。おしっこは座ってする。トイレはきれいに。

⇒最近、トイレがものすごく汚れています。1日に3回もおしっこを掃除した日もありました。トイレを掃除するのは塾長や先生たち。塾長や先生たちはおしっこ掃除のためにいるわけではないので、汚さないように細心の注意を払ってトイレを利用してください。トイレ掃除を1日に何回もしなければいけないと授業の質が下がります。

◇塾では細かい確認はしなくてもOK。自分で考えて行動する。

⇒次は何をすればいいですか？トイレ行ってきていいですか？ティッシュをもらってもいいですか？鉛筆けずっていいですか？教科を変えてもいいですか？タブレットを借りてもいいですか？その他にも「○○してもいいですか？」と聞く生徒が多いです。エースクールでは細かい確認はしなくても大丈夫です。自分で考えて、行動しましょう。何かおかしいと思うときには注意します。実生活でも確認の少ない子の方が、自分で行動を起こせるので、成長スピードが速い気がします。

◇休み時間を有効に使う。

⇒以前のエースクールニュースにも書きましたが、休み時間をうまく使えず、「休み時間がヒマで苦痛に感じる…」という顔をしている生徒がいます。将来、成功する生徒には、一見無駄とも思える時間を楽しみ時間に変えてしまう発想力や行動力があるのではないかと思います。楽しく過ごせる工夫をしてみましょう。休み時間をどう楽しく過ごすか、これも思考力を鍛える立派なトレーニングです。いま十分楽しんでいる生徒も、違った楽しみ方を考えてみてください。新しい発見があるかも。自分で自分を楽しい方向へ導けると、自己肯定感が増して、やる気も起きやすくなります。「面倒だ」と考えるのを放棄するか、頑張っただけで楽しいことを考えるのか、今はほんの小さな差ですが、大人になるころには大きな差となっていることでしょう。